第2期計画における考え方

事業効果等の評価や施策の推進に活用するため、以下の評価等を行い、公表

○ 対象事業の進捗状況、事業効果等の評価

毎年度、東京都子供・子育て会議において、客観的かつ専門的な立場からの意見交換・調査審議

○ 施策の推進等への活用

個別事業に係る数値目標の推移や、施策に関する各種調査などにより、毎年度、

- ① 個別事業の進捗状況(アウトプット)を点検・評価
- ② 計画全体及び目標ごとの成果 (アウトカム) についても、令和3年度に設定した評価指標により点検・評価

経緯

【第1期計画】

- 計画期間終了時の評価に向け、計画全体の指標を設定
- 毎年度の事業評価に向け、目標ごとの指標を設定
- 毎年度の事業評価の際には、目標ごとの指標だけでなく、本計画において定める事業目標 量の進捗についても参考とする

【第1期中間評価】

- 事業成果(アウトカム)の評価指標は、理念と計画の施策体系に基づいた、目標ごとの項目を設定
- 評価指標は、目指す成果を元に策定し、各項目の成果を知ることができるものを設定
- 評価指標に基づき、成果を図るための調査については、客観性と継続性が担保された既存 の統計調査を活用。対応できないものは独自の調査を実施

【第2期計画における見直しの考え方】

- できる限り、毎年度評価できる指標を採用例) 福祉保健基礎調査 → インターネット調査
- できる限り、定量的な指標を採用 例)サービスの整備が必要だと思う保護者の減少 → 学童クラブ登録児童数の増加

○ 他の都計画と連動した指標を採用

東京都子供・子育で会議

学識経験者、子育て当事者、子供・ 子育て支援事業者、地域活動関係者 、事業主代表、労働者代表、区市町 村代表などで構成

> **幼保連携型認定こども関部会** (認可等への意見)



計画の 推進

「東京都子供・子育で支援総合計画」 策定等事業構進会議

<組織> 関係13局課長級

<検討事項>

・「東京都子供・子育て支援総合計画」 の策定、推進、点検、及び評価に関する こと